

2021年1月26日

長野県感染対策研究会
代表世話人 本田孝行
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会
担当者 征矢佳輔

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告
～2020年12月データについての報告～
(データ集計日：2021年1月26日 集計対象施設数：61施設)

2020年12月のVISA、VRE、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。
上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、
下記問い合わせ先までご連絡ください。

<MRSAの分離状況について>

長野県全体の分離率は7.02%でした。JANISでの全国の分離率は6.21%（2020年7月-9月
四半期報）であり、全国と比較し分離率が高い状況です。南信地区では11月から低下傾向が継続
していますが、依然として他地域に比べ高値です。東信地区では11月から上昇傾向が続いていま
す。その他の地区では前月と同程度の分離率となっています。

<多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

前月は南信地区で1例分離されていましたが、12月は1例も分離がありませんでした。JANIS
での全国の分離率は0.03%（2020年7月-9月 四半期報）です。なお、1例でも分離が認められ
たご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

<第三世代セファロsporin耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は3.07%でした。東信・北信地区では前月に比べ分離率が低下し、中信・
南信地区ではやや増加しています。JANISでの全国の分離率は3.73%（2020年7月-9月 四半期
報）でした。JANISで2015年集計分より用いられている第三世代セファロsporin耐性大腸菌
の判定基準よりも、SICSSでの判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一
概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3例以上分離されているご施設には、
感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

耐性菌検出検査やSICSSデータ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者ま
でお問合せください。

【SICSSのデータを用いた学術活動について】

SICSSのデータを用いて学術活動（学会発表や論文執筆など）を行う際には、必ず下記担当者
までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

問い合わせ先 信州大学医学部附属病院 臨床検査部 堀内 一樹 TEL: 0263-37-3493、 e-mail: hori9000@shinshu-u.ac.jp
--